

“春”で彩る音世界

沖澤のタクトが鮮やかに描く！ストラヴィンスキー：《春の祭典》

Igor Stravinsky: The Rite of Spring

©Felix Broede

沖澤のどか［指揮］京都市交響楽団

Nodoka Okisawa, conductor City of Kyoto Symphony Orchestra



©京都市交響楽団

2027
4/25（日）

3:00PM開演（2:15PM開場）

開演前（2:35PM頃開始）指揮者によるプレトークあり

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ／JR西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）

A 6,000円 B 4,500円 C 3,000円 D 2,000円（全席指定・税込）

ご予約・お問合せ 芸術文化センターチケットオフィス **0798-68-0255** 10:00AM-5:00PM 月曜休み※祝日の場合翌日

リリ・ブーランジェ：**春の朝に**
Lili Boulanger: D'un matin de printemps

ドビュッシー：**交響組曲「春」**
Claude Debussy: Printemps, Suite symphonique, L.61

＊＊＊

コネソン：**3つの季節（日本初演）**
Guillaume Connesson: Les Trois Saisons (Japan premiere)

ストラヴィンスキー：**春の祭典**
Igor Stravinsky: The Rite of Spring

一般発売 11/22（日）	チケット予約	●芸術文化センター 0798-68-0255 https://www.gcenter-hyogo.jp　芸術文化センター会員先行予約受付開始 11/20（金） ●チケットぴあ https://pia.jp/t/ ●ローソンチケット https://l-tike.com ●イープラス https://eplus.jp
直接購入	芸術文化センター2階総合カウンター【11/23（月・祝）より、残席がある場合のみ】	

※車いす席はお電話でのみ販売しております。※未就学児童のご入場はご遠慮ください。
※プレイガイドでの取扱については各プレイガイドにお問合せください。
※やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

兵庫県立芸術文化センター

関西から文化力 POWER OF CULTURE

世界の楽壇が注目する新世代の旗手 沖澤 × 千年の都から響く音色 京響

新緑を言祝ぐ“春”尽くしのプログラム

世界の楽壇が注目する“今聴くべき”指揮者のひとり**沖澤のどか**。2026年には楽団創立70周年を迎え、さらに充実した音色を全国に響かせる**京都市交響楽団**。大きな節目を越え、次なる一歩を踏み出すタッグが2027年春に贈る“春”をテーマにした特別なプログラムです。

まずは近年再評価がすすみ、沖澤も力を入れるフランスの女性作曲家リリ・ブーランジェによる優美な**《春の朝に》**でご挨拶。ドビュッシーの繊細な色彩が光る交響組曲**《春》**へと続き、1970年生まれのフランスの作曲家コネソンの**《3つの季節》**で現代の響きを堪能いただきます。この曲は、今回のツアーでの演奏が日本初演。「非常に色彩感豊かな作品を書く作曲家」と沖澤が語るコネソンの、推進力のあるリズムと華やかな管弦楽の音色をお聴き逃しなく。プログラムの締めくくりは、ストラヴィンスキーのバレエ音楽**《春の祭典》**。20世紀音楽の最大傑作のひとつとも称される壮絶な作品で、大編成のオーケストラが奏でる迫真の演奏は、まさにオーケストラの醍醐味を味わうのにぴったりです。圧倒的なエネルギーと革新的なリズムが、鮮やかに劇場を包み込んでくれることでしょう。

新緑の季節の多様な表情を映し出す、充実の内容。卓越したアンサンブルと沖澤の感性が融合し、まるで万華鏡のような音楽世界をお楽しみいただきます。さあ、生命の息吹を言祝ぐ春のひとときを、ぜひご一緒しましょう。



2025年
KOBELCO大ホール公演より ©飯島隆

沖澤のどか（京都市交響楽団常任指揮者）

Nodoka Okisawa, Chief Conductor of the City of Kyoto Symphony Orchestra

京都市交響楽団第14代常任指揮者、セイジ・オザワ 松本フェスティバル首席客演指揮者、青い海と森の音楽祭芸術総監督。2026/27シーズンは、オークランド・フィル、タスマニア響、ハレ管、ラトビア響へデビュー。メルボルン響、オウル響へ再登場。ルクセンブルク室内管との新プロジェクト、京響とプロコフィエフ交響曲全曲演奏を。日本でも読響、都響、N響、東響等へ定期的に客演。東京二期会でレハール『メリー・ウィドー』、ビゼー『カルメン』、サイトウ・キネン・オーケストラでモーツァルト『フィガロの結婚』、ブリテン『夏の夜の夢』を指揮。2019年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝、併せてオーケストラ賞と聴衆賞受賞。2018年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝。2020-22年ベルリン・フィル・カラヤン・アカデミー奨学生、及びキリル・ペトレンコ氏アシスタント。第21回（2022年度）齋藤秀雄メモリアル基金賞 指揮部門受賞、第28回（2020年度）渡邉曉雄音楽基金音楽賞受賞。青森県生まれ。幼少期からピアノ、チェロ、オーボエを学ぶ。東京藝術大学で高関健、尾高忠明両氏に師事、修士号を取得。2019年ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでC.エーヴァルトとH.D.バウム両氏のもと第二の修士号を取得。

京都市交響楽団 City of Kyoto Symphony Orchestra

1956年、京都市が「京都の新たな文化財」として構想し、創立。日本で唯一、自治体が設置・運営に責任を持つ。〈身近な存在として、市民に愛され誇りとされる〉〈文化芸術都市・京都の象徴となる〉オーケストラを目指している。京都コンサートホールでの定期演奏会をはじめ、小中学生対象の音楽鑑賞公演、0歳から楽しめる演奏会、アウトリーチ活動、若い人達への楽器講習会など多彩な活動を行っている。近年は小林研一郎、井上道義、大友直人、広上淳一らが常任指揮者を務め、2023年沖澤のどかが第14代常任指揮者に就任。2024年ヤン・ヴィレム・デ・フリーントを首席客演指揮者に迎え、演奏の一層の充実を図っている。2026年度は創立70周年を迎え、〈世界に向けて最高の音楽を発信し続ける〉オーケストラとしてさらなる発展を目指す。



©井上写真事務所 井上嘉和



https://www.gcenter-hyogo.jp
兵庫県立芸術文化センター
Hyogo Performing Arts Center

先行予約会員募集中！
詳しくは、https://www.gcenter-hyogo.jp

便利なアクセス!!
大阪梅田からも神戸三宮からも
ホールまで15分
（阪急電車特急乗車の場合）

◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ（連絡デッキで直結）
◎JR 西宮駅より徒歩15分（阪急バス7分）
※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

